

「ベントンのエンジン」はガラクタだー!

2011年、ハノーバーで開催されたアグリテクニカには、旧友ヤンと北海道の生産者4名が2年ぶりに再会して、中部ヨーロッパの意気込みを見て回ろうということになった。毎回、拡張される会場にはいろいろなトラクタ、コンバイン、作業機、IT関連機器があり、中部ドイツ人のチョイ肩幅がちりちりした金髪・ブルーアイに会うことになったが、少し気になることがあった。

日本でもブランド力がある、グロバル・ブランドのベントンの評判が著しく悪いのだ。特に200馬力を超える産業用ディーゼルエンジンに関しては国籍、職業に関係なく皆が口をそろえて、「冒頭の「ベントンのエンジンはガラクタだー」と言い放つ。そんな日本国内のベント・オーナーにとっては、耳をふさぎたくないような暴言を多くの場所で拝聴することになった。

今回はキセキ北海道・新恵弘さんの紹介でフォレージ・ハーベスターなどで有名なクローネ社の工場視察ができる手配をしていただいた。工場案内は日本に何度も来ているドイツ人の担当者である。丁寧な表現ではあったが、この方もやはりベント

の産業用ディーゼルエンジンに関しては良い意見を持っていなかった。このクローネ社は10年末までは500馬力のベント・ディーゼルエンジンを2台搭載した世界最大のフォレージ・ハーベスターを製造していたが、現在のモデルはマン社の1078馬力のディーゼルエンジンを使用し、生産者からもハーベスターの能力と共に絶対的な信頼を得るようになった。日本では産業用マン・ディーゼル

エンジンはJRの鉄道車両、海上自衛隊の潜水艦や一般船舶で有名だが、そのエンジンは明らかにベントよりは信頼性が高そうだ。なぜベントのエンジンはガラクタなのか聞いてみたが、それほど難しい話ではなかった。米国でもヨーロッパであっても特殊な事情(多くは宗教)を除いて、収穫に土日は関係ない。そこで問題が発生するようだ。産業用ベント・ディーゼルエンジンを扱うプライドの高い販売店の多くは土日が休みで、部品供給や修理が出来ないので月曜日まで待つことが

あり、当然のごとく作業に支障が出る。三菱ふそうトラック販売では以前、積極的にベント・トラックを販売していたが、整備では泣かされたらしい。事実、十勝の生産者からベントのエンジンが搭載されたコンバインの部品が三菱ふそうトラック販売では手に入らないので、どうしたらいいだろうと相談されたことがあった。そこでオランダ人のヤン

ブランドもの、
お好きですか?

Vol.48



宮井能雅

1958年3月、北海道長沼町生まれ。現在、同地で水田110haに麦50ha、大豆60haを作付けする。大学を1カ月で中退後、農業を継ぐ。子供時代から米国の農業に憧れ、後年、オーストラリアや米国での農業体験を通して、その思いをさらに強めていく。機械施設のほとんどは、米国のジョンディア代理店から直接購入。また、遺伝子組換え大豆の栽培を自ら明かしたことで、反対派の批判の対象になっている。年商約1億円。

Illustration by Kazushige Akita

オレにも
言わせる!

北海道長沼発
ヒール宮井の憎まれ口通信

にメールをして、その部品を送って
もらったことがあった。そのときに、
経営者にとって決定的なことは、ベ
ンツ・ディーゼルではマン・ディー
ゼルと比較すると明らかに燃料消費
が悪いので、大面積の生産者や長距
離トラック会社にとっては大きな問
題になると話していた。最近の流行
であるバイオ・ディーゼルの対応性
も違うらしい。そういえば2年前に
訪問したコーン・サイレージからで
きたバイオ・ディーゼル燃料で発電
するプラントでも、産業用マン社V
8ディーゼルエンジンを使用してい
た。

実際に使用する現場の人間は「マ
ン社のエンジンは普通の軽油から各
種のバイオ・ディーゼル燃料に対応
できるので安心だ」と口をそろえて
発言する。しかし昨今、この各種の
バイオ・ディーゼル燃料のトラブル
が日本でも多くなってきたと聞く。
菜種、大豆由来のバイオ燃料のトラ
ブルの多くは燃料フィルターの詰ま
り、噴射ノズルの詰まりで済むが、
中にはエンジン本体までおかしくさ
せる物もあるようだ。

ベンツの悪口ばかり書いてしまっ
たが、BMWと並び第二次世界大戦
では航空用エンジンメーカーとして
活躍した。そのドイツ航空用エンジ
ン技術を日本に持ち込み、もつとス

ゲー化け物に進化させた物があるこ
ともご存じだろうか？

零式艦上戦闘機（ゼロ戦）や陸軍
の隼を作ったのは現在のスバルの前
身、中島飛行機である。その中島飛
行機のDNAを現代のテクノロジ
に進化させた『農道のボルシェ』

とも言われる、四輪駆動の王者『ス
バル・サンバー』の日本農業の現場
での活躍にはドイツ人もタジタジと
なること請け合いだ。なぜならエン
ジンには強制吸気装置であるスーパ
ーチャージャー付きのモデルがあ
り、その威力に全国のJAでは『ス
バル・営農サンバー』として販売
されていたほどだ。惜しくも本年2
月をもって製造中止になったことは、
ボルシェもさぞかしライバルがいな
くなつて喜んでいることだろう。

ではあるが、ベンツ・ディーゼル
に乗るのはドイツ語も英語もできな
い世間知らずの反日、反米主義者で
あり、初めて知る金髪・ブルーアイ
の社会に近づけると勘違いしている
か、小心者である自分を隠すため、
穴をめぐって街中走っている様なも
のです、と言う結論に達したい自分
と、ブランドの威力には困惑される
一般人が多い。

たとえば日本ではボルボは安全な
車のイメージがあるが、ヨーロッパ
人に聞くと「はあ？ パルドン？」

となる。ボルボはディーゼルエンジ
ンのトラックも販売しているが、日
野自動車も扱う同じスエーデンのス
カニア製ディーゼル・エンジンのト
ラックの方が日本でも、ヨーロッパ
でも明らかに評判はいいと言ふこと
をガソリン・エンジンのベンツやボ
ルボのオーナーはご存じなのだろう
か？

まあ、結局、私はトラクタやコン
バインのエンジンは米国製ジョン・
ディアで、普段の足は米国製V8の
SUVに乗っている関係ないけ
ど…。

必ず！ お願いします

ここまでの話は非農業生産者や女
性には難しかったかもしれないね。
ドイツ話の続きは2号くらい後の
お楽しみと言ふことで、ここからは
分かり易いお話をします。

こんな風に好き勝手を書いてい
ると、どこかでシンパシーが間違つて
あつてしまう方たちがいる様です。

しかし、わたしの考えるコミュニ
ケーションと違う考えの方たちも多
くいらつしやるようで、シーズン中
に、何のアポも取らないで突然ピン
ポンどころか、作業の真っ最中に「ヒ
マかい？」なんて、やってくるトボ
ケタ方たちがいるのです。そのよう
な方たちには事前に『必ず！』必

ず！ 電話なりを入れてから来るよ
うに言っているのですが、多くの場
合、軽く無視されるのは、農家は働
かないものだと思いたい、ご自分の
経験から来るものなのでしょうか？
そんな人たちに限って要件を従業
員に伝えなくて「いやちよつと寄っ
てみただけだから」と、生産者を勝
手にヒマ人扱いするコミュニケーシ
ョン・スキルは日本の歴史観の、ど
の部分から学んだのでしょうか？

誌面上、身勝手でもわがままな行
だと言ふことは、よく理解している
のですが、そこでお願ひがあります。
6月1日から8月20日まで私の農場
に誰も、そうです例外なくエニバデ
イ来ないでください。もつときつい
言い方をします。私は**サービスマ
ンには興味がなく、顔が見えな
い農業**を今までも、そしてこれか
ら実践することになる生産者なの
で、この時期は心底忙しいので、誰
にも対応したくないのです。

何か勘違いしていない？ と思わ
れても仕方がないのですが、自分は
それほど八方美人であることに興味
がないので、ご不満の方はいるかと
思います、それが大豆と麦の収量
には関係ないと言ふのは、しっか
りした日本の農政と金髪・ブルーア
イの存在があるからだとお気づきで
したか？